

2024年10月1日

東京証券取引所の取引時間30分延長と売買ルールの変更について

東京証券取引所(以下「東証」)は、市場を巡る環境変化や多様化する投資家のニーズに対応するとともに、市場利用者の利便性や国際競争力、レジリエンス(※)をさらに高めていく観点から、2024年11月5日より取引時間の延伸を実施することを正式に決定・発表いたしました。

これにより、現状15時となっている立会内取引の終了時刻が、15時30分まで延伸されることになり、立会終了前の5分間にクロー징・オークションが行われる予定です。

※ レジリエンス…困難をしなやかに乗り越え回復する力(精神的回復力)

変更ポイント

● 東証の取引時間が30分長くなります

実施日 2024年11月5日(火)～
取引終了時間 【変更前】15:00
【変更前】15:30(30分延伸)

● クロー징・オークションが導入されます

取引終了時間の5分前(15:25)にザラバ(※1)が終了し、売買が成立しない注文受付時間(プレ・クロー징といえます)を5分間設けた後、15:30に立会終了となります

クロー징・オークションとは…

後場(※2)のザラバ(※1)終了後に注文受付時間を設け、その後大引け(※3)に板寄せ(※4)を行う仕組み

※1 ザラバ…始値と終値との間に行われる継続売買

※2 後場…午後の取引

※3 大引け…午後の最後の取引

※4 板寄せ…価格優先原則に基づいて成行注文を優先したのち、安い売り注文と高い買い注文を突き合わせ、数量が合致した値段が約定価格となる売買の方式

なお、本件による店頭窓口営業時間の変更は予定しておりません。

※ 東京証券取引所 [「取引時間の延伸の正式決定について」](#)を基に作成しております

以上